

---

平成29年度議会報告会報告書  
一般会場

平成29年8月  
庄原市議会

---

## 平成29年度庄原市議会報告会報告書 目次

1. 開催の目的	1
2. 開催地区、開催日時及び参加者数	1
3. 議会報告会（報告事項）次第	2
4. 班編成	2
5. 報告事項に対する質疑応答	3
(1) 公契約条例について	3
(2) 地域包括ケアシステムについて	3
(3) 学校教育（特別支援教育）について	6
(4) 林業振興施策について	7
(5) 農業振興施策について	8
(6) 観光振興施策について	9
6. 意見交換	11
(1) 未利用財産の活用について	11
(2) 入学祝い金・敬老祝い金について	12
(3) JR芸備線について	12
(4) 自治振興区制度について	13
(5) その他	15
7. 議会へ対する質疑・意見・要望	22
8. 行政へ対する質疑・意見・要望	23
9. 議会報告会の検証結果	27

## 1. 開催の目的

市民が議会の活動に参加できるような懇談会、議会報告会等を開催するよう努めるため。(庄原市議会基本条例第5条第3項)

## 2. 開催地区、開催日時及び参加者数

地域	地区	開催日	開催時間	会場	参加者数	担当班
庄原	庄原	7月18日(火)	19:00~21:00	庄原市ふれあいセンター	41	1
	高	7月3日(月)	19:00~21:00	高自治振興センター	16	2
	本村	7月6日(木)	19:00~21:00	本村自治振興センター	18	3
	峰田	7月3日(月)	19:00~21:00	峰田自治振興センター	18	4
	敷信	7月12日(水)	19:00~21:00	敷信地区民ふれあい広場	12	5
	東	7月12日(水)	19:00~21:00	東自治振興センター	32	1
	山内	7月11日(火)	19:00~21:00	山内自治振興センター	8	2
	北	7月13日(木)	19:00~21:00	北自治振興センター	11	3
西城	西城	7月7日(金)	19:00~20:45	西城自治振興センター	20	4
	八銚	7月3日(月)	19:00~21:00	八銚自治振興センター	16	5
東城	小奴可	7月10日(月)	19:00~21:00	小奴可自治振興センター	15	2
	八幡	7月4日(火)	19:00~20:50	八幡自治振興センター	18	3
	田森	7月13日(木)	19:00~21:00	田森自治振興センター	8	4
	東城	7月13日(木)	19:00~21:00	市役所東城支所	51	1
	帝釈	7月11日(火)	19:00~21:00	帝釈自治振興センター	28	5
	新坂	7月7日(金)	19:00~21:00	新坂自治振興センター	13	2
	久代	7月4日(火)	19:00~21:00	久代自治振興センター	22	1
口和	口和	7月18日(火)	19:00~21:00	口和自治振興センター	8	3
高野	高野	7月6日(木)	19:30~21:15	下高自治振興センター	17	4
比和	比和	7月7日(金)	19:00~21:00	比和自治振興センター	12	5
総領	総領	7月6日(木)	18:30~20:00	総領自治振興センター	43	1
一般会場計					427	

※特設会場(市内3高校)は別に報告書を作成する。

年度	期間	開催時間(要綱)	会場数	参加者数	班数
平成23年度	7月1日~21日	19:00~21:00	22	488	8
平成24年度	7月3日~20日	19:00~21:00	21	369	8
平成25年度	7月3日~18日	19:00~21:00	21	328	5
平成26年度	7月3日~18日	19:00~21:00	21	430	5
平成27年度	7月3日~24日	19:00~21:00	22	445	7(内特設2)
平成28年度	7月11日~21日	19:00~21:00	24	一般 375 特設 415 合計 790	8(内特設3)

### 3. 議会報告会（報告事項）次第

<p>【一般会場】</p> <p>(1) 開会あいさつ</p> <p>(2) 議会報告・質疑応答 (常任委員会の報告)</p> <p>①公契約条例について</p> <p>②地域包括ケアシステムについて</p> <p>③学校教育（特別支援教育）について</p> <p>④林業振興施策について</p> <p>⑤農業振興施策について</p> <p>⑥観光振興施策について</p> <p>(3) 意見交換</p> <p>①未利用財産の活用について</p> <p>②入学祝い金・敬老祝い金について</p> <p>③JR芸備線について</p> <p>④自治振興区制度について</p> <p>⑤その他</p> <p>(4) 閉会あいさつ</p> <p>※時間配分 (1)～(2) 1時間 (3)～(4) 1時間</p>
--

### 4. 班編成

(一般会場)

班	総務常任委員	教育民生常任委員	企画建設常任委員
1	竹内光義 坂本義明	桂藤和夫	政野太
2	岡村信吉	吉方明美 山田聖三	林高正
3	宇江田豊彦	福山権二	横路政之 田部道男
4	五島誠	近藤久子	門脇俊照 岩山泰憲
5	赤木忠徳	徳永泰臣	谷口隆明

※ここからのページは、会議の一連の流れで重複したり、まとめて回答するなど空欄になっているところがあります。

## 5. 報告事項に対する質疑応答

(1) 公契約条例について	
【 庄原地域 庄原地区 】	
公契約条例の制定のスケジュールは怎么样了のか。	今年度、検討委員会が設置され具体的な検討が進められることになっている。
【 庄原地域 高地区 】	
地元業者が請け負いやすいように随意契約を増やす方がいいのではないかな。	契約は明瞭性、透明性が大切であり基本は入札であるが、地元業者が入札に入りやすいようにはしたい。
【 西城地域 西城地区 】	
歩切りとは何か。	積算に基づく設計金額から減額して予定価格を設定すること。これが測量、設計業務の委託において未だに存在していたが、公契約条例の議論をする中で改善することができた。
【 西城地域 八幡地区 】	
西城町内で出ていっているお金と入っているお金はいくら位と把握されているかな。	把握していない。
【 東城地域 久代地区 】	
委員会は、昨年から執行者に公契約条例検討委員会の設置を求めているが、出来ていないのはなぜかな。	総務常任委員会では、平成 27 年 3 月に、「公契約条例の制定を求める決議」を提出し議会で可決して、執行者に対して条例制定への取り組みを求めている。今年度は新規に予算化して、公契約条例検討委員会の設置が行われる予定となっているが、先日、設置が少し遅れると報告を受けている。
指定管理業務を受託している事業者が(特に保育業務)、従業員に対して積算金額の賃金を正確に支給していないため、早期退職者が多数出ている。雇用対策にならないのではないかな。	この問題については、昨年の6月議会でも議員の一般質問が多く出ている。執行者も内容をしっかり調査して、改善に向けて努力すると答弁があった。そして、今年度改めてしっかりとこの問題を議論していく必要がある。
【 高野地域 高野地区 】	
質の高いサービスを供給するために業者はどうしたらいいかな。中小零細企業を育成する視点も持ってほしい。	業者育成の視点は持って議論させていただく。また、中小零細企業支援については他でも議論させていただく。
【 比和地域 比和地区 】	
施設管理しているものは何件あるかな。比和町は何件あるかな。	把握していない。後日、自治振興区へ回答する。(回答済)
(2) 地域包括ケアシステムについて	
【 庄原地域 庄原地区 】	
平成 37 年には、本市の介護保険料が引き上げられる予定であり、本市の介護保険料などの負担は将来的にどうなるかな。	介護保険料が急激に上がることがないように抑制に努めているが、高齢者が元気であることが介護保険料を抑える最善策であり、そういった個人の認識が大切である。

和光市と本市では財政状況や実態が違うと思うが、視察の成果が本市の地域包括ケアシステムにどう活かされるのか。	確かに和光市と本市では実態は異なるが、地域包括ケアの最先端の取り組みを知る必要があると思う。アンケート分析の手法など、参考とすべきであると感じた。
本市では既に自助努力は限界であり、国・県に働きかけが重要ではないか。	本市だけの取り組みには限界があることは承知しており、国・県などへの要望や働きかけは重要な課題と捉えている。
<b>【 庄原地域 本村地区 】</b>	
和光市の地域包括ケアシステムの報告があったが、庄原市の高い介護保険料を100円でも引き下げる取り組みをすべきである。	介護保険料を安くするには、高齢となっても健康を維持し、介護サービスで経費が増えないようにする必要がある。シルバーリハビリ体操に取り組むなど、高齢者が元気な状態を長く保ってもらうようにする。
<b>【 庄原地域 東地区 】</b>	
埼玉県和光市へ視察研修され、地域包括ケアシステムの先進的ない地域と言われるが、本市での活用策は何か発見があったか。	今回の和光市では高齢者福祉・介護等に対して困っていることについてアンケート調査し無関心な市民には、最後まで回答を求めて課題に取り組んでいく事が参考になった。
<b>【 西城地域 西城地区 】</b>	
和光市の内容を教えてほしい。	囲碁などを行う集会所やジムなどの活用をすすめ、特に男性の参加率を増加させることができた。一番重要な事は住民の意識啓発であり、職員の粘り強い取り組みの成果が出た。
介護予防事業が地域に下りてきても住民のリーダーが不在である。育成の場が必要である。	介護サポーター育成の事業などしっかり展開するようにしていきたいと思う。
<b>【 西城地域 八銚地区 】</b>	
県外視察に行かれているが、庄原市は地域包括ケアシステムの先進地と市長候補は言われていたが、どうなのか。	先進地ではない。
介護保険料の増加は高齢者人口が増えたのか、一人当たりの医療費が上がったためなのか。	制度の改正によるものである。
<b>【 東城地域 八幡地区 】</b>	
地域包括ケアシステムの対策は、短期・中期・長期の取り組み見通しや、成果や課題を市民に周知すること。また個人の努力目標も示し、成果をあげるべき。また取組への男性参加が少ない。工夫して参加を促すようにしてほしい。(執行者へ対する質疑・意見・要望に再掲)	市は昨年度より行政組織として、専任の課を設けた。シルバーリハビリ体操に取り組むなどで、東城・総領など進んだ取り組みの地域も見られるものの、受け入れの進まない地域も見られる。担当部署でも苦慮しながらも取組を進めている。
<b>【 東城地域 田森地区 】</b>	
医療、介護がしっかりしていないと地域包括ケアなんて無理。地域交通など他にも課題が多い。議員はしっかりと執行者へ働きかけるべきだ。	

【 東城地域 東城地区 】	
東城地域にある病院が入院廃止となり、今後において地元住民にとって大きな問題だと思うので、地域包括ケアシステムについて議会・執行者も真摯に取り組んでほしい。	庄原では訪問看護があったり、総領地域では地域全体で支えあうシステムを築いており、医者が少ない地域でも地域包括ケアに近いものを作っているのので、東城でも地域に合ったシステムを築いてほしい。
地域包括ケアシステムについて、実際地域で支えあうとか行政で連携するという話を聞いて雲を掴むような話に思えるが、私たちの生活においてプライベートな部分があり、どこまで介入・協力していいものなのかというところで、きちんとした説明ができるのか。また、実現できるのか。	総領町ではある程度方向性ができてきているのではないかと思っている。庄原市は社会福祉協議会に委託しており、まだスタート地点にたったばかりと思っている。しかし、これから市民の方が執行者や社会福祉協議会の職員と話をする機会を設けたり、意見を伝えていくことが大事なのではないかと思う。
【 東城地域 帝釈地区 】	
地域包括ケアシステムは中身も多種多様である。医療、介護、予防が中心であろうと思うが、庄原市としての理想型が見えてこない、在宅医療など具体的な策を打ち出してほしい。今はばらばらの様な気がする、一体的なシステム化を図ってやっていただきたい。	言われるように一貫性がないので委員会を中心に議論していく。
要支援など介護制度の用具のサービスは残してもらいたい。自立するためには福祉用具が必ず必要だと思う。在宅在宅といっても、帰って生活できないようでは困る。	庄原市議会から国へ意見書を提出している。
訪問看護ステーションについて、庄原市には5つあると思うが、東城には西城市民病院の支所といった位置づけだ。本気で取り組むのであれば、東城単独での訪問看護センターを作っていただきたい。	一般病床復活に務めるが、出来ない場合は市やこぶしの里病院などを含めて話し合いをして、独自の訪問看護ステーションを作るように考えていきたい。
現在は介護士の方が不足し、特養なども定員いっぱいの受け入れが出来ないと聞くと、こうした状況の中、教育機関にお願いして人材の育成をされてはと思うが。	地域で介護について学べるような専門機関があればいいと思うので実現できるように議会で検討していきたいと思う。
市はシルバーリハビリ体操を推進されており、指導員の養成も行われている。指導員がデイホーム、サロンなどに指導に行っているが交通費も出ない。検討いただきたい。(執行者へ対する質疑・意見・要望へ再掲)	調べて回答させていただく。(回答済み)
【 東城地域 新坂地区 】	
先進地視察になぜ和光市を選んだのか。庄原市とは財政規模等が全然違うと思うが。	庄原市とは違うが、介護保険料を安くしている市として先進的な取り組みを行っているということで、視察先として選んだ。
【 東城地域 久代地区 】	
本市は他市に比べて介護保険料が高く、負担が大きいのはなぜか。	この課題は、本市において施設等がたくさん出来ている要因と高齢化が進んでいるために負担が大きくなっていると考えられる。我々議員もしっかりと対策を検討している。

<b>【 口和地域 口和地区 】</b>	
庄原市と比較して、和光市の高齢化率と全国の高齢化率を知りたい。和光市の報告は狭い面積の町での取り組みで、本市のように非常に広範囲のまちと一様にはできない。問題を整理して対策をすべきだ。	庄原市は41.4%、和光市14.5%、全国では26%の状況です。要介護の必要な人を抑えているところに、取り組みの成果が上がっている。
<b>【 高野地域 高野地区 】</b>	
「親子」というのもっと見直すべきである。子が親の面倒をみるのは当たり前という教育をすべき。また、現状にあわせ、65歳以上を高齢者とする尺度を見直し、庄原発の尺度を打ち出してみるとよいのではないか。	貴重なご意見として受けとめる。
現在の介護保険制度や地域包括ケアシステムなどの現状は冷たいと感じる。国は要支援1、2を市町村へさせるようにしているが、社会福祉協議会、さらには自治振興区への丸投げなど言語道断である。特に自治振興区は2、3人しか事務局員がいないので無理である。国は責任を果たすべきだ。	地域包括ケアシステムについては、議会がどう役割を持っていけるか議論していきたい。自治振興区の事務の煩雑さの解消等について、執行者へも意見していきたい。
<b>【 比和地域 比和地区 】</b>	
地域包括ケアシステムは、いつまでに構築を目標とされているのか。	いつまでと言うよりも、保険料の上昇率を抑える事を目標としている。

<b>(3) 学校教育(特別支援教育)について</b>	
<b>【 庄原地域 東地区 】</b>	
本市の特別支援学校を訪問したのか。特別支援を要する児童生徒が増えていることについて教育委員会とタイアップして、社会教育に問題があるのか、家庭教育に問題があるのか、原因究明に尽くしてほしい。	今回の視察で一番感じたことは何処の地域でも特別支援を要する児童生徒が増えていることは大きな社会的な問題であり、学んだことはやはり家庭教育の大切さである。そして情報を共有した児童生徒への教育が重要である事を研修した。また地元にもしっかりと目を向けていきたいと思っている。
<b>【 庄原地域 北地区 】</b>	
発達障害のある児童・生徒数が近年増加傾向にあるとの報告だが、増加の要因を国・行政(議会)で把握して対策が行われているのか。	対象の児童・生徒数が増加しており、田川地区に続き帝釈地区に支援施設を設置して対応にあたっている。意見として受けとめ委員会などで研究したい。
<b>【 西城地域 西城地区 】</b>	
乳幼児期の障害を誰が判断するのか。専門性のある人をどう配置していくのか。継続性も大切。特別支援員の状況はどうなっているのか。	現在、庄原市では田川、帝釈の子育て支援センターで障害を持った子どもさんの発達支援を行っている。また母子健康診査などできっちりと取り組んでいかなければならないと認識している。
<b>【 口和地域 口和地区 】</b>	
特別支援対象者は、子供が減っているにも関わらず増えたとあるのはなぜか。	保護者の自覚の高まりや、日が当たらなかったところへ目が向けられるようになったのではないかな。



<b>【 高野地域 高野地区 】</b>	
対症療法の議論だけでなく、なぜ増えていっているのか。何をすべきかという議論が必要である。	おっしゃるとおりだと思います。貴重なご意見として受けとめる。
<b>【 比和地域 比和地区 】</b>	
庄原市の状況はどうなのか。増加傾向にあると言われたがどうなのか。	親子の関係、愛情、食事、環境など色々な考え方があり、増加傾向にある。

**(4) 林業振興施策について**

<b>【 庄原地域 高地区 】</b>	
庄原市は、所有者一人あたりの山林所有面積が少なく、まとまったの大きな事業ができにくい。森林組合などからの色々な補助制度を地元へもわかるようにしてほしい。	境界の確定を急ぐ必要がある。
<b>【 庄原地域 本村地区 】</b>	
ペレット工場の有効活用をすべきだが、報道でも問題視されている。ジュオンと同じ事でこれまでの経過に対し責任がなすすぎる。	現状に対し、議会の統一見解はない。課題として検討していく。
<b>【 庄原地域 東地区 】</b>	
本市の補助金事業でペレット工場を整備されたが、事業内容がしっかりと稼働してない情報がある。その原因を議会としてどのように認識しているのか。	新聞報道でもあったが、当初の目的であった市内に循環型の林業として整備したが、成果がなく、又、地元材の集約がなくなった。再度、市内全域の林業を循環型にするために、議会・委員会として課題解決に努める。皆さんの意見を参考にしたい。
竹の活用方法は何かないか。	鳥取県南部町で竹するめを作っている。そのように活用しているところもあり、要望があれば説明等にも来てくれると聞いている。
<b>【 西城地域 八銚地区 】</b>	
森林の活用について市としてのビジョンはあるのか。	話し合いを行っていない。
三次地方森林組合に行ってきた、三次は、京都日吉町からコンサルを入れて取り組みを行われている。庄原市としてそんな考えは無いのか。	庄原市は森林組合が4組合あり難しい。
<b>【 東城地域 田森地区 】</b>	
杉、桧の人工林で、雑木が生えていないところで災害が起きている。境界がはっきりしないためにその対策が出来ない側面もある。地籍調査のスピードを上げるよう市へ働きかけてほしい。	執行者には伝える。GPSなどやりようもあると思うので、森林組合などへ相談してみる手段もあると思う。
<b>【 口和地域 口和地区 】</b>	
ペレット工場の現状を議会はどう思っているのか。ジュオンの行き詰まり時点で分かっていたのではないか。	林業(林家)の振興策として取り組んだが、発電向けに材が流れ、ペレット工場へ原材料が集まらず新聞報道の状況になっている。

品質が悪いのを知っていながら品質管理を行わなかった。市有林からの材を入れる方法もあるのでは。	品質に問題があったことは聞いている。竹材を試すなどしたがうまく行っていないようだ。ペレット工場について、議会は方向性を出していない。課題として議員が共有できるようにしたい。
<b>【 比和地域 比和地区 】</b>	
伐期を迎えている木材をどのように活用されようと考えられているのか。	基本は用材としての活用を考えている。
木の駅プロジェクトはどういったシステムになっているのか、流れを教えてください。	7割は山崎木材へ、帝釈の半分はペレットに行っている。1トンで6千円の地域通貨を発行して、480万円が地域で回っている。

<b>(5) 農業振興施策について</b>	
<b>【 庄原地域 本村地区 】</b>	
庄原市の財政は破産するのではないか。収入を増やすには主産業の農業の振興が必要だが、米を作っても赤字だ。比婆牛の事業は聞くが他の施策は聞けない。	市の財政状況は、職員の削減や財政健全化を念頭に公共事業の適正執行、公債費削減などで、危機的状況が差し迫ってはいない。国からの交付税が大幅に減ってくると影響が大きいので注視していく。農業振興施策は、今のところ画期的な施策が示せていないとも思える。
<b>【 西城地域 八鉾地区 】</b>	
高齢化、人口減少等により、耕作放棄地が増え続けている、農林振興公社の料金体系ではとても農業を続ける事はできない、農林振興公社に生産から販売までやっていただかないと耕地は守れない。	
<b>【 東城地域 小奴可地区 】</b>	
耕作放棄地の解消は、米作り、米政策にかかっていると思う。平成30年から米の直接支払交付金がなくなり先が見えず不安。議会も視察して調査しているが、どう考えているか。	国策なので、庄原市独自ではなかなか難しいが、WCS用稲や飼料用米への取り組みを強化していきたい。
農村が衰退しないよう、行政・議会・農協が連携して、農業政策を行ってほしい。ほ場整備田が年々荒れており、農道や水路も老朽化している。その対応として、再度基盤整備するなど、何か新たな取り組みはないか。	現在のところでは、新たなほ場整備はないが、多面的機能交付金等での対応が考えられるのではないかな。
<b>【 東城地域 八幡地区 】</b>	
会社や農業法人での営農が進められ、小農(個人農家)排除の感がある。個人への補助制度や資金手当でも無く、このままでは農家がなくなる。がんばる農業補助金はあるものの、採択基準のハードルがあり使いにくい。動ける(がんばる)65才以上の農家を支援する施策をすべき。(小農対策は、健康づくり・生きがいつくり効果が大きい。着目し推進を。)	企画建設常任委員会で検討する。

【 東城地域 久代地区 】	
地域では農業後継者が少なく耕作放棄地が増えている。農業へ従事する若者が収入を得られ、さらに耕作放棄地が減るような施策が視察先になかったか。	視察の例では、法人化を進めて、そこに地域から社員として迎えて雇用形態を生み出すことが農業を持続する一つの方法だ。加工施設を設けて付加価値の高い農産物を出荷するしくみもある。そういう提案をしている。
【 比和地域 比和地区 】	
農業の担い手不足では、農業を守るためには認定農業者が重要と考える。現在は農業所得が450万円ないと成れない。米だけでは大変。緩和する事は出来ないのか。農業を守るためには、まず地域を守る必要がある。よい方法はないか。(執行者へ対する質疑・意見・要望へ再掲)	認定農業者の審査は厳しいが、農業振興計画に基づいて増えてきている。まずは、大半の農家が家族経営なので、家族農業をがんばるため、しっかり考えていかなければならない。認定農業者の緩和を執行部へも要求をする。

(6) 観光振興施策について	
【 庄原地域 高地区 】	
広島と庄原間のバスの便が充実してきているが、朝一番の庄原行きや夕方の広島行きには空きがある。観光でもう少し利用ができないか。	公共交通全体で考える必要がある。路線バスやスクールバスを含めて、観光に生かせるよう具体策を考える必要がある。
【 庄原地域 本村地区 】	
都市計画事業で駅周辺整備が進められているが、もとは備北丘陵公園オープンで、来訪者の多くが列車を利用して来る事を想定していた。現在来訪者はほとんど車で来ており、列車利用の入込は見込めない。都市計画事業推進を議会が承認する理由はなにか。	駅前の整備等都市計画事業は、合併以前からの計画に基づいて進められている。当初の10haの規模を現在は2haに縮小して実施されている。市民の方に色々な考えはあると思うが、議会としては、市が庄原市長期総合計画に定めた事業は、特別問題が認められないものは承認している。丘陵公園来訪者等の市内周遊での活性化を目指した取り組みで、駅前整備については夢のある事業として進んでいる。
比婆いざなみ街道物語は市長の公約だ。議会は事業推進に協力するのか。上野池や葦嶽山などについての考えはあるのか。	市長提案の事業が出され、議会がこれを認め進んでいる。地域それぞれの魅力もあり、これらを生かしていく計画でもある。
【 庄原地域 東地区 】	
いざなみ街道について、御陵までの道路整備が必要なのではないか。	必要であるという意見と、そこまでは自然破壊になるのではないかという意見が出てくると思う。最終的に庄原市がどのように活かしていきたいのか議会として注視していきたいと思っている。
【 庄原地域 北地区 】	
比婆いざなみ街道物語事業で道路改良が進まない要因を明らかにし今後の事業を進めるべきだ。(県の見解は受益人口や交通量で事業採択を判断するより、相続等での山林の用地取得の困難なことが最大要因だ。)川北激甚災害復旧工事での特別な用地取得の対応例もあり、参考にして早急に道路改良を進めるべきだ。	本市は国土調査が遅れており、相続や税の賦課等に課題がある。議会で協議を進めたい。

<p>観光施策の調査報告があるが、庄原には何も対策がない。神奈川からの友人を市内各地へ案内したが、案内板・駐車場・トイレ・食べる場所・土産物いずれも不足している。金融機関の広銀との意見交換とあるが視点が違うのではないか。観光で実際に成功している所を研究し、もっと事業性の検証をすべきだ。</p>	<p>貴重な意見として受けとめる。</p>
<p><b>【 西城地域 八銚地区 】</b></p>	
<p>「比婆いざなみ街道」を打ち出されているが、県道などは、今の状態では人を呼び込む事も出来ない。待避所を作るとかももう少し計画性を持ってやってもらいたい。</p>	<p>県に対して観光を前面に出して、道路改良等を行おうとしている。</p>
<p>JR芸備線を活用して「比婆いざなみ街道」の活用を進めていただきたい。</p>	
<p>観光地ではトイレの問題がある。例えば帝釈峡遊歩道のトイレの状態がよくない。改善が必要だ。</p>	
<p><b>【 東城地域 八幡地区 】</b></p>	
<p>管内で道の駅「たかの」が一人勝ちの状況だ。東城では遊YOUさろん東城(主に加工品)ときんさい市(主に農産物)の二つの売り場があるが、施設が別で人の流れを悪くしている。道の駅の利便性や魅力を高めるよう検討してほしい。(執行者へ対する質疑・意見・要望に再掲)</p>	<p>各道の駅のあり方への意見があることを執行者に伝える。</p>
<p><b>【 東城地域 東城地区 】</b></p>	
<p>いざなみ街道について、東城が出发点になっているが東城の町中に向けて人が入ってくるような施設・イベントの基盤づくりをしてほしい。各施設同士の情報交換がないので、商工会などに会議の場を設けるように呼びかけてほしい。</p>	<p>確かに東城の観光施設は一体化していないので、なぜできないのかということから見つめるべきと思うので、しっかりと執行者のほうへ伝えたい。</p>
<p><b>【 東城地域 新坂地区 】</b></p>	
<p>帝釈峡の観光に力を入れてほしい。もう手遅れかもしれないが、帝釈峡を観光地として復活してほしい。特に樹木が老木化してきており、帝釈峡の環境を保全するには若返りを図る必要がある。国定公園なので難しいかもしれないが、若木を植えるような取り組みができないか。また、神龍湖の水質が悪くなっている。対策を早急に考えてほしい。(執行者へ対する質疑・意見・要望へ再掲)</p>	<p>帝釈峡の観光や環境保全については、神石高原町とも連携し対策を進めている。今年度は、遊歩道にトイレを設置するよう計画している。また、外国からの観光客の受け入れにも力を入れている。</p>

## 6. 意見交換

(1)未利用財産の活用について	
【 庄原地域 本村地区 】	
庄原市の避難所には、その施設の防災上の安全性に関係なく指定している施設もあるのではないかと。また、処分される旧学校施設もあるが、昨今、豪雨災害が多発していることを踏まえて、未利用施設を防災用物品の保管場所や、緊急的な避難場所にするなどで、より安心につながると思う。これを検討してほしい。(執行者へ対する質疑・意見・要望へ再掲)	旧庄原市の学校施設の活用はよくされている。ほかの地域の施設の活用が課題となっている。意見を執行者へ伝える。
【 庄原地域 敷信地区 】	
未利用財産について25%削減の話がされたが、田園文化センター、庄原市民会館、庄原自治振興センターの件などどうされるのか。こうした、田園文化センターや市民会館の問題を意見交換の議題に上げるべきだ。	平成30年をめぐりに検討中である。
【 庄原地域 北地区 】	
未利用財産は少し余裕を持った発想で考えてほしい。地震や水害、島根原発の避難エリアとしても考えられ、広く防災機能を共有できる人と活用を考え進めるべきだ。	ほかの地域でも、防災施設への活用が意見として出ている。執行者へ伝える。財政的厳しさの中で、処分ありきの方向が優先されている面も伺える。議会も財政を念頭にした面もあった。持ち帰り検討すべきと思う。
【 東城地域 小奴可地区 】	
旧小奴可小の跡地や旧小奴可中の校舎等、廃校の草刈など維持管理に手間と経費がかかる。未利用財産(遊休資産)の活用をどう考えているか。	地元での利用を最優先にしているが、なかなか難しいのが現状である。危険な建物については、解体撤去をするが、地元での利活用を考えてほしい。
【 東城地域 八幡地区 】	
公共用地(旧学校施設・グラウンド等)の売却の考えが市にはあるのか。地域の加工場等で利活用をするよう検討したが、面積が広すぎたり、価格の面で地域での利用は実現していない。	行政財産を普通財産に変更したりして活用に繋がるよう対応されてきた。地域の活性化や雇用、福祉の向上が図られることを念頭に活用をすすめるが、市民の方のアイデアも示してほしい。
【 東城地域 帝釈地区 】	
旧帝釈小学校の利活用について検討中だが、自治振興区だけでは大変に難しい。市も一緒に考えていただきたい。	市では公共施設等の総延床面積の25%を縮減する計画を策定し、旧学校施設の利活用方針も定めている。全国にはその事例があるので紹介したい。知恵を出し合って地域を活性化することが大事だ。
【 口和地域 口和地区 】	
災害避難所で活用する意見もあるが、先の九州豪雨災害では、避難場所が危険で再度安全な避難場所へ移っている。本市でも安全を確認すべきだ。	未利用財産は、東城・高野に多くあり、市内全部の施設管理費は年間600万円になるようだ。まず、地域で有効活用する。また、地域に限らず、広い範囲で活用策を考えていく必要があると考える。



旧古頃小学校施設の維持費が嵩むと聞く。将来、子どもの負担になるのではと不安に感じる。	
<b>【 比和地域 比和地区 】</b>	
未利用財産としてある旧古頃小学校について、以前に自治振興区で活用していたが、維持費の問題などもあり困難となっている。せっかくあるのに使えない。財政の問題、地域の高齢化などの課題もある。放置しておけば熊やイノシシも出没する。行政として議会としてどう思うのか。今後検討をいただきたい。	コールセンターなど全国での利用例はある。こうした未利用施設があることを民間の方に知ってもらえることが大切であり、都会のお金を田舎に還流させることも必要。しかし、本当はシンボリックな建物なので地元の人がアイデアを出して活用していただけるのが理想的。

<b>(2)入学祝い金、敬老祝い金について</b>	
<b>【 庄原地域 高地区 】</b>	
子どものためと言うことであれば、現物支給がいいと思う。祝い金なので、「ここまで、子どもたちを良く育てた」と言うことで、親への祝いでいいのではないか。	
<b>【 庄原地域 敷信地区 】</b>	
個人に入学祝い金を配るよりも、教室が足りないところに充てるなどの使い方があるのではないかと検討してほしい。(執行者への要望へ再掲)	執行者に伝え、来年報告する。
<b>【 東城地域 八幡地区 】</b>	
地元独自の祝い金支給を検討したいので、市の祝い金の狙いや交付の状況を問う。	従来よりの祝い金はいずれも存続している。限られた財源の中での支給で、これまで一部金額の変更もある。入学祝い金が本当に子供に届いたか等の議論もある。
<b>【 口和地域 口和地区 】</b>	
口和では、独自に出産祝い金を出している自治会もある。出産・入学・敬老祝いの状況はどうか。	祝い金は減額になったものがあるが、それぞれある。入学祝い金について、現金でなく、ランドセルなどの現物支給に代え、子どもに直接渡るようには等の意見もある。

<b>(3)JR 芸備線について</b>	
<b>【 庄原地域 高地区 】</b>	
ここ10年利用したことはない。広島へはバスが便利になったので、ますますJRは使わなくなった。乗っているのは、学生が主である。なくなると寂れるように思う。なくしてほしくない。	

<b>【 庄原地域 本村地区 】</b>	
子供の頃から芸備線を利用してきた。一両の運行でも乗客が少なく寂しい気がする。イベント等で盛り上げて利用を増やし、存続してほしい。	芸備線落合駅と東城駅の間は、日本でも最低の乗車ランクにあるが、土日の昼の便は立ち乗り客も出るほどのようだ。対策の参考とする。議会の一般質問でもたびたび取り上げられている。今後も存続の取り組みを進める。
<b>【 西城地域 八銚地区 】</b>	
芸備線の活用について、木次線は備後落合駅まで繋がっているが、木次線沿線は活発な活動連携をとられているが、庄原市としての取り組みはあるのか。木次線は行政が一生懸命に取り組まれている。庄原市も取り組んでいただきたい。	色々な提案は行っている。執行者は今後取り組みを始めようと思う。
<b>【 東城地域 八幡地区 】</b>	
芸備線沿線に住んでいるので、列車の運行を見ることが出来る。朝や夕方の便はほとんど乗客がない。しかし、土日の昼の便は立ち乗り客も出るほど乗客がある。要因を分析し、今後につなげてほしい。	芸備線落合一東城間は、日本でも最低の乗車ランクにある。芸備線が必要とされる意義を、JRと地元がいかに共有できるかで、JRの路線存続への考えが決まるようである。

<b>(4) 自治振興区制度について</b>	
<b>【 庄原地域 高地区 】</b>	
行政の仕事が、自治振興区に次々とおりてくる。自分の地域は、自分たちで守ろうと考えているが、高齢化もあり人材が不足している。今の賃金では、誰もやらなくなる。優秀な人材を確保する上においても、賃金を上げてほしい。また、色々な提出物や申請書類を簡素化してほしい。	
<b>【 庄原地域 山内地区 】</b>	
自治振興区があまりにも小さいところがある。人材の確保が難しいのではないかと。21ある自治振興区の見直しが必要と思う。地域は地域で守るという理念は変えてはいけませんが。	
<b>【 庄原地域 北地区 】</b>	
自治振興区について、議会としてはどう思っているのか。	今、議会では企画建設常任委員会に所管が変わっている。議会としてのまとまった見解はない。大別して、住民自治の原点に立ち自主的運営に徹し、予算も限定すべきだということと、行政の補完機能の高まりの現状に照らし、人的・予算的にも拡充が必要との考え方がある。

<p>自治振興区も合併後 10 年以上経過し、実態は大きく変わった。国も定年制度や年金支給開始年齢を引き上げ、地域で対応できる運営スタッフは、70 歳になってくる。また、JA北支店が廃止の計画で、事務対応も難しくなる。</p>	<p>人口減少のなかで、各団体の職員は減少し、社会インフラは次第に失われつつある。困りごととして、問題意識を持って今後の対応にあたりたい。</p>
<p><b>【 東城地域 小奴可地区 】</b></p>	
<p>自治振興区制度について、年々自治振興区においてくる行政の事務が増えてきている。特に東城地域は人口が8千人だ。支所の機能を減らさず、もう少し拡充してほしい。</p>	
<p><b>【 東城地域 八幡地区 】</b></p>	
<p>行政から各自治振興区への要請が強まり、事務対応に苦慮している。支所職員の減少する状況で、これ以上の業務拡大には、人的・予算的措置がないと対応が難しい。(執行者への要望へ再掲)</p>	<p>市の交付金もあり、監査を受けることなど所定の事務対応は伴う。今後の事務簡素化はしっかり議論されるべきと考える。</p>
<p><b>【 東城地域 田森地区 】</b></p>	
<p>自治振興区について、それぞれの認識を述べてほしい。</p>	<p>(それぞれ私見を述べる。)</p>
<p>やればやるほどきりがないのが自治振興区ではないか。地域のために働くのが自治振興区。事務局賃金も安いのが現状。自治振興区制度を続けるならばもっと支援が必要だと思う。今重要施策に位置付けられているはずの定住施策についても支援拡充もない。がっかりした。</p>	
<p>自治振興区単位でのいわゆる特区による白タクなど思い切った事をやっていかなければいけないと思う。予算もしっかり地域へつけてほしい。</p>	
<p><b>【 東城地域 帝釈地区 】</b></p>	
<p>自治振興区として補助金が減っては困る、市からの仕事は沢山来ている中で、絶対に補助金の削減にならないようにしていただきたい。</p>	
<p>今年度から地域バスが廃止になり、タクシー利用になった。6割の助成で、一人暮らしが多い中、赤字になると自治振興区の負担になっている。補助率と事務処理について考えて頂きたい。</p>	



<b>【 口和地域 口和地区 】</b>	
<p>口和では自治振興区が、空き家や付随する農地や山林を活用するため、転出している所有者、相続人に連絡を取り、処分の確認を取っている。しかし、個人情報の関係で支所に相続人等の必要な情報を得られなくなっている。国交省でも相続財産の整理が進む方向について対策に着手しているようなので、市でも早急に空家・たんぼなどの利活用を進めるため、本庁・支所に窓口を設けてほしい。 (今の組織体制では、2～3の課に相談しなければならない状況で、以前より対応が悪くなった)</p>	
<p>空家対策は、庄原市総合サービスが窓口になっている。事務所の移転のため、外に建て替えてそこに入るとの話聞く。徳島県神山町では、窓口が古民家にはいっており、宣伝効果もあげている。参考にすべきだ。</p>	<p>他地区の報告会でも、道路整備に係る用地取得の相続関係で苦慮している話も聞いた。貴重な意見として持ち帰る。</p>

<b>(5)その他</b>	
<b>【 庄原地域 庄原地区 】</b>	
<p>バイオマス事業が失敗し、残った建物などの施設の今後の活用策はないのか。</p>	<p>現在ある建物と跡地利用については、今年度の新規事業としてイノシシ肉等のジビエ加工場に整備する計画が進められている。</p>
<p>駅前開発事業では、ほとんどの建物が取り壊されているが、新設される施設はほとんどなく、寂れた状況である。議員は庄原駅前の現状をどのように感じているか。</p>	<p>事業計画に沿って交通拠点として整備が進められているので、もう少し経てば今後の姿が目に見えてくると思う。(庄原駅前の現状について、議員それぞれ私見を述べる。)</p>
<p>それぞれの委員会での、先進地視察の報告を受けたが、目的・効果が市民に伝わって来ない。政務活動の成果を目に見える形で議会活動に反映させるべきである。</p>	<p>委員会の視察では、所管のテーマで先進事例を勉強している。また、政務活動は、自らの議員資質向上に向け、知識や情報を習得し、執行者に対してしっかりと根拠を持って提言ができるよう、目的を持って視察・研修をしている。政務活動の成果は、一般質問や会派要望などの議員活動で活かされていると思う。(政務活動の目的と成果について、議員それぞれ私見を述べる。)</p>
<p>議員は市民によくわかるようにわかりやすい言葉で説明すべきである。</p>	<p>今回の議会報告会の反省点として受け止め、今後、参加しやすく、わかりやすい報告会にすべく努力したい。</p>
<p>高齢化が進む中、地域の活力を保つには出生率を上げていくしかないと思うが、本市独自の特徴的な子育て支援策があるのか。</p>	<p>こども未来広場の整備による小児科診療所と病児病後児保育施設の新設や放課後児童クラブの小学6年までの受け入れなどがある。</p>
<p>市内で人口が最も多い自治振興区にもかかわらず、自治振興センターは市内で最も古く、住民一人当たりの面積も最も少ないといった実情を理解していただきたい。</p>	<p>地域の切実な声として持ち帰り、執行者に伝えたい。</p>

【 庄原地域 高地区 】	
定住促進のことで、三次に比べて庄原の家賃が高いようだが、これでは若い人には庄原より三次のほうが魅力なのではないか。どうにかならないだろうか。	定住促進には家賃も大切なことだ。
【 庄原地域 本村地区 】	
木山市長は、公約を掲げ当選した。議会は協力して公約の実現にともに歩んでほしい。	議会の務めとして、今後も市長を質していく。
小学校適正規模・配置について、合併時の答申があったが、対応が曖昧で複式となっている学校では残念な思いを持っている。昨年設置された「庄原市学校適正配置検討委員会」に複式学級等の問題を抱える地域の願いは伝わるか。	考え方として、まず複式学級を止めよう。児童・生徒数の減少が続く中で、中学校では、高野・比和の統合もあり得るという考え方もある。いずれにしても地元の考え方の集約により決まっていくと思う。
庄原小の校舎建て替えが行われたが、今後他校との統合に対し受け入れに問題はないのか。	子供の減少や児童数の推移を見込んで対応できるよう計画されたものと考ええる。
【 庄原地域 峰田地区 】	
こども未来広場について新聞報道などもあったがどうなっているのか。あわせて若者や子供が庄原で生活しやすい環境づくり、取り組みなどについてプログラムに入れてほしかった。今回、未来広場がなぜ入ってないのか。なぜ、こども未来広場の面積が減ったのか。	(当初の提案から現在までの経緯を説明。)全部取得から一部取得に変更したため所有者との再協議が必要となり、所有者が候補区画の一部を自ら活用したいと示されたことを受けて、院外薬局の事業予定者も含めて協議した結果である。市が取得し有償貸し付けと当初検討していた院外薬局について、所有者が直接貸し付ける事となった分、面積が減った。
さとやまペレットの新聞報道もあったが、市が出資した会社の経営でうまくいっているものがないのではないかと。最終的に市民が負担を背負う。議会はしっかりしてほしい。	社会情勢の変化もある。しっかりと議会も意見をしていく。
人口減少で地方交付税も減少しているが、市の財政、公債費比率等は大丈夫か。	大きな課題として取り組む。財政計画では実質公債費比率は14%程度、ほぼ横ばいで推移する計画になっている。議会も注視していく。
政務活動費の公開はどうなっているか。月3万円足りるのか。	市議会のホームページなどでも会派ごとに収支を公開している。金額については貴重な意見として受けとめる。
庄原赤十字病院に産科医師が着任されたとの事だが今後の課題はなにか。	分娩の再開には、3人の常勤医師が必要となる。まだまだ道半ばである。
出産手当を出したらどうか。	現在、市では出産祝い金という形で出している。意見として伺う。
企業誘致をもっと進めるべきではないか。庄原市の企業が市外に出て行く状況であれば、子育て施設や産婦人科を充実させても、働く人がいない状態となる。	現在、工業団地については空きがない状況であるが、しっかりとやっていかなければいけないと認識している。ご意見を生かしていきたい。
以前、障害者の方向けの医療ロボットの導入の要望に行ったが導入に至らなかった。こういったものについてこそ、先進地へ視察に行くべきと思う。	ご意見として受けとめる。

<b>【 庄原地域 敷信地区 】</b>	
行政視察等によく行かれているが、どう生かされているのか。	執行者に対して、委員会として提言している。執行者としても生かしていると思う。
庄原市は財政が非常に悪いと聞くがどうなのか。それから、外から来る人への支援は充実していると思うが、地元に残っている若い人達への支援が少ないのではないのか。	地元に残っている若い人達への支援が少ないのは間違いないと思う。今後、議論していきたいと思う。そして、財政が悪かったのは事実だが、現在は改善してきている。国の交付税があり何とかやってきている。市は現在 70 億円くらいの基金があるので、少しずつ使えば、色々なことに使えると思う。
トマト栽培施設の件はどうなっているのか。	市が土地を購入したが、その後の活用が無いため、現在売却する事になっているが、売れていない。販売の条件はないが、金額的な面で売れていないのだと思う。
トマト栽培施設について、地元が受けた場合、市からの援助はもうないのか。	市からの援助はない。
農村青年会館も同じことであると思うが、何とかならないのか。将来は助成なども検討されたほうが良いと思う。	言われていることは分かるが、現在はどうにもならない。
駅前開発は本当に必要なのか。止めることはできないのか。駅前開発はこれだけの案件がしっかり議論出来ていないのがおかしい。	もう止めることはできない、今後はいかに活用していくかが問題となる。
<b>【 庄原地域 東地区 】</b>	
こども未来広場の整備に関する経過と方向性について、院外薬局は別の場所で整備するのか、また事業内容が変更になる事があるのか。	院外薬局の件は、個人が取得して事業整備することは説明があった。また、先の 12 月定例会で減額修正した補正予算の案件では、1 月の臨時議会の際の予算決算常任委員会において、「この補正予算の基に取組が始まる、小児科診療所・病児病後児保育施設整備については、予算及び用地購入を必要最小限に止めること」という内容の付帯決議をしている。執行者も真摯に受け止めているし方向性は変わらないと思う。
超高速通信網について、加入率向上のために普及活動等の策はあるのか。	昨年 11 月時点で加入率は 6 割程度である。これからも執行者側に提案していきたい。
<b>【 庄原地域 山内地区 】</b>	
観光で生きる街なら、食事が一番ではないか。サービス業においても超一流を目指す意気込みが必要だと思う。山内の米と一緒に持っていくような特産品がない。長野県に星空のきれいなことを売りに観光に生かしているところがあった。庄原でもできるのではないのか。	
あらゆる分野に超高速情報通信網の利活用をもう少し考えた方がいい。	

<b>【 庄原地域 北地区 】</b>	
川北小学校の子供は減り続けている。これ以上子供が減らないよう、議会で議論してほしい。	県の高校入学の選択が柔軟になったのを受けて、小学校も自由度が増している。意見として持ち帰り、意見を共有したい。
超高速情報通信網整備事業の住民告知端末の設置については、住民によく理解されていない部分がある。わかりやすく整理して周知すべきだ。(執行者へ対する質疑・意見・要望に再掲)	端末については、NTTが進めることでもあり個人情報の扱いで、本人確認等に慎重な扱いがあると思う。市へ報告する。
<b>【 西城地域 西城地区 】</b>	
西城保育所の建て替えの件はどうなっているのか。	千年に一度という豪雨を想定し再度検討が行われている。水夢横を含めて現在候補地を3箇所に絞り検討されている。
避難場所やそこにある備品について、何がどこにどの程度あるのか地域住民へ知らせていく取り組みが必要だと感じる。	避難所だけでなく、備品についてもしっかり取り組んでいきたい。
昨年報告があった地産地消の件はその後どうなったのか。	庄原市としてもぜひ取り組みたいとして、本市の栄養士と話をした。本市の栄養士も地域の野菜を現地へ行って確認するなど、すでに地産地消の取り組みをしっかりとされている。しかし、時期によって野菜の量が揃わないなどの課題もあり、使える野菜が増えるとよい。
政務活動費を昨年度かなり余らして返還されたが、しっかり使って研鑽してほしい。	しっかりと取り組む。
西城保育所が建て替えられると民間委託になると噂で聞いた。心配している。	まだ正式な議論としてそういったものは聞いていない。いずれにしても安心して通わせることのできる保育所、保育事業を推進していきたい。
水夢には立派な器具が沢山ある。市民に活用を促してもらいたい。	努めていきたい。
地域で報告会など行っているのか。	(それぞれ私見を述べる。)
地元議員と話がしたい。	そのように伝える。
<b>【 西城地域 八鉾地区 】</b>	
行政視察が行われているが、その後の方向性が示されていない。	
バイオマスの問題。決着がついていない、結局、立て替えたお金はどうなるのか。	
光回線について良くわからないが、末端まで良く伝わっていない。メリットとかデメリットとか分からない。	
行政視察等に行かれているが、アイデアが出てこない。10年後の庄原市のビジョンを示して頂きたい。	



合併後 10 年間は地域審議会があり、市民の意見を市に伝える機会があった。今は市政懇談会と議会報告会で年に2回だ。議会も政策提案に向けて市民の意見を聞くことは必要だ。市民の意見を伝えることを、市と一緒にやってはどうか。	今後の議会の指針となる意見だ。そういう機会は大変に貴重なことであり、今回の議会報告会でも、意見を伺いたいテーマを設けて取り組んでいる。
<b>【 東城地域 小奴可地区 】</b>	
ジュオンの問題はどうなっているのか。賛成した議員もおり、議会として議員報酬を半分にするとかして、どこかで線引きをしないとイケないのでは。	平成29年3月議会で、一応議会としての責任はないとの決着をみている。
政務活動費の使われかたに問題はないか。	庄原市議会では、月額3万円あるが、厳しい取り決めを行っており、領収証を全て添付している。食事代には一切使っていない。政策提言できるよう視察や調査研究に使っている。
<b>【 東城地域 田森地区 】</b>	
常任委員会の報告をする意図はどこなのか。私達がこの場で言った意見がどのように責任持った対応になるのか。言ってみたってしょうがないのではないか。	各常任委員会の活動内容に対する皆さんの意見を聴き、それを踏まえて今後の在り方を検討していきたいと考えている。この報告会の形がいいのかどうかというのは課題である。
なぜ遠くばかり見て回るのか。地域を見て回る姿なんか見たことがない。もっと本気になって取り組んでほしい。格好つけた話ばかり聞きたくない。	危機感を持ってやらなければならない。皆さんの代弁者たるべく頑張っていきたい。
学校統合について報告されないが、小規模校でもいいではないか。	田森自治振興区から出された要望書と検討委員会の意見はそんなに相違がないと感じる。保護者や地域とともに歩む視点を持って検討が必要である。教育委員会の方針は10月頃に出され、地域や保護者に説明に回ると聞いている。
ジュオンの件、議会には責任はないとあるがそうなのか。	特別委員会の最終報告を3月にさせていただいた。その中で改めて、責任は執行者であると記述した。
執行者のチェックをしっかりとってもらう為に議会に託している。もっと専門性や判断力などを身に付け、議論を活性化し二度とジュオンのような事がないよう頑張ってもらいたい。	
もっと議会、議員も襟を正してやりなさい。はっきりした意思を示してほしい。	
昨年の意見交換で出した要望は議会としてどうだったのか。地域テーマとして出させておきながら議論が深まらなかった経緯がある。	
<b>【 東城地域 東城地区 】</b>	
地域密着型の授業、地域に愛着を持ってもらえるようなカリキュラムを考えてほしい。	教育の面に関しては、昔は地域と関わる授業が多かったが、先生が転勤をするたびに地域との関わりが薄れてきて地域との交流がなくなっているのではないか。コミュニティスクールなどを進めていかないとイケないと思っている。

<p>庄原赤十字病院に産婦人科医の先生が着任されると聞いたが、その状況はどうか。</p>	<p>庄原赤十字病院に1人しか来られないので、例えば24時間体制ということになると、まだそこでは、出産ができない。だいたい3人は産婦人科の先生がいなくてお産ができない。しかし、産婦人科復活のための一歩ができたということに理解がいただければと思う。予算も組んであり、3年先になるか、4年先になるか分からないが、庄原市内でもお産ができるようになるための大きな一歩だと思っている。</p>
<p>昨年も振興区から多くの課題・要望がありました。議員さんが、昨年の報告会で要望等聞き取り調査した経過説明をしてほしい。</p>	
<p><b>【 東城地域 帝釈地区 】</b></p>	
<p>意見交換の、「JR芸備線について」や「自治振興区制度について」は何か問題があるから、ここに挙げているのか。</p>	<p>特にJR芸備線などについては自治振興区としても、問題点などがあつたら早く情報をいただきたい。</p>
<p>人口減少の問題で今後の対策、政策等あれば教えていただきたい。</p>	<p>移住コンシェルジュにより移住者の受け入れやサポートを行っている。そして未婚者が多いと言う事で、婚活コンシェルジュによりサポートをしている。</p>
<p>定住対策をやる場合、庄原の良さは何であるのかを、アピールする事が大切ではないのか、教育に重点を置くとか、他所にないものを立ち上げる必要があるのではないのか。</p>	
<p>定住対策を考える上で、陳情も上げてはいるが、学校適正配置の件で、八幡、小奴可、田森などの小規模校を統廃合しない事が大切ではないか。移住して来ても近くに学校も無いといった状況は作るべきではないと思う。</p>	
<p>色々行政視察等、先進地の視察を行われ、話を聞いたが、他県の真似ではだめだと思う。多くの議論を重ねて、早く方向性を示される必要があるのではないのか。</p>	
<p><b>【 東城地域 新坂地区 】</b></p>	
<p>今年度から地域生活バスが廃止となり、市民タクシーの試験運行をしているが、申請事務等自治振興区(地元)への負担が増えている。事務の簡素化などどうにかならないか。直接住民へ補助するようなタクシー券のようなものに変えてほしい。自治振興区へ次々と事務等色々な事が回ってくる。地域も自治振興区も高齢化し、人材不足である。もうこれ以上対応ができない、無理である。</p>	<p>庄原市全体としても公共交通の問題については、検討が必要と考えている。教育民生常任委員会の中でも協議したい。</p>
<p><b>【 東城地域 久代地区 】</b></p>	
<p>今年度から地域では生活バスが廃止になり市民が困っている。市民タクシー等での対応は出来ないのか。</p>	<p>執行者も対象地域に出向いて改めて市民の要望を聞き取り調査して自治振興区でのまとめをお願いしている。今後は議会も委員会でしっかりと議論していく。</p>

<b>【 口和地域 口和地区 】</b>	
子供が減り、学校の適正規模・配置については、答申に基づき進むだろう。合併前、既に口和、高野では統廃合は進められていた。	昨年に出された答申に基づき議論が進められると考える。
九州豪雨災害で、有線緊急告知システムは機能しなかった。国交省も防災無線放送の活用が最善と言っている。口和では防災無線が、まだ機能しており、維持管理費の問題も理解できるが屋外放送施設は残すべきだ。高齢者のすべてが住民告知端末を付けるという可能性はないこと。広島豪雨災害対策で、新たに屋外通信施設を設けるという情報がある。	この件は、今後も総務常任委員会で議論したい。
高速通信網を英語教育等に使うことが考えられるが、親がインターネットに入らない(月 6,000 円の負担がネック)子への対策はどうするのか。議会のペーパーレス化は進むのか。	旧庄原市のまちなかの加入率は低い。学校での取り組みはカリキュラム優先のため遅れており、検証・実験段階といえる。議会のペーパーレス化は、議員全員の合意がないと進まない。
<b>【 高野地域 高野地区 】</b>	
光ファイバーの加入率はどうか。100%でなければ、有線放送の効果がないのでは。携帯電話の普及で若い方などは固定電話を引かない方も多くいる。そういう人たちへの災害時などの情報提供などどう考えているのか。	おっしゃる通り、若い方を中心に、特に市内中心部では加入率が低い傾向にある。屋外スピーカーの活用なども含めて災害時などの情報提供については課題がある。
市政懇談会でごみ分別の説明があったが、分別する前段で、まず、ごみを発生させない学校教育が必要だ。	
<b>【 比和地域 比和地区 】</b>	
庄原市にまんべんなく地域協力隊員に来ていただきたい。比和に地域おこし協力隊が入っていないが、どうしてなのか。	自治振興区とか支所から、目的、ミッションを達成するために必要なら入って来ると思う。
田の平トンネルでは冬に点検や工事をしている。近くの路面の凍結もあり、通行に危険があると思う。市とは関係ないかもしれないが、国や県に他の時期にできないか要望してほしい。(執行者へ対する質疑・意見・要望へ再掲)	県が管轄しているので、執行者側から要望していただくよう手続きをとる。
道路の舗装など、雪が降る前の時期に工事が多い様に思う。すぐに降雪して、除雪作業で路面を傷めて、舗装路面の良い常態の期間が少ない。もう少し良い時期に出来ないのか。	近年は契約時期の平準化によって、工事の発注を早くなっている。
道路工事など6月後半から発注できるようになったと言われたが、4月から6月に発注が出来ない理由を教えてください。	4月から5月に国の交付金が出ていない実情がある。自己財源が少ないため発注できない。借金してでも発注は出来るし、実際そのようにしている市や町もある。

## 7. 議会へ対する質疑・意見・要望

<b>【 庄原地域 庄原地区 】</b>
庄原自治振興センターの老朽化対策として建て替えを要望しているが、なかなか進まないで、議会の方からも支援してほしい。庄原自治振興区としては現在地での建て替えがベストと考えている。
<b>【 庄原地域 峰田地区 】</b>
議会報告会ではしっかりと地元の意見を聞いてほしい。報告もよいが意見聴取、討論会の時間を多くして行ってほしい。
峰田自治振興区では、毎月振興区会議があり、地域の要望などまとめて前もって議員へ渡すことも可能。地元意見を聞いて議員の思いを聴かせてほしい
議員は平素から地元で報告会を行えばいいと思う。
障害者のリハビリの医療ロボットを庄原市に導入するための要望などを以前にも行ったが、改めてお願いしたい。(執行者への要望へ再掲)
<b>【 庄原地域 東地区 】</b>
地域包括ケアシステムについて経過等の説明の場を設けるよう議会から要求してほしい。
<b>【 庄原地域 山内地区 】</b>
報告会の延期の対応が良くなかった。4日に来られた人も数名いた。延期の連絡や次の日程を知らせる方法を考えてほしい。延期になると参加者も少なくなる。
<b>【 東城地域 小奴可地区 】</b>
小奴可と内堀の診療所が5月末で閉鎖となった。無医地区となる。西城市民病院への通院が可能となるよう、市民タクシーと医療バスの連携など、議会として今後も自治会の相談にのっていただきたい。
<b>【 東城地域 新坂地区 】</b>
何のために地域を回っているのか、昨年出した質問等には必ず回答を持ってきてほしい。
<b>【 高野地域 高野地区 】</b>
環境という視点を持って価値観の啓蒙と、市としてどうビジョンを持ってやっていくのか議論してほしい。その中で木材や米などの農産物をどうお金に変えていくのかあわせて議論してほしい。
いざなみ街道、道の駅たかのを核に、高野ICから観光客が市内へ下りる方策をしっかりと考えてもらいたい。
<b>【 総領地域 総領地区 】</b>
特別支援教育について、他市の例ではなく、本市・議会ではどのように取り組んでいるのか知りたかった。次回は報告をお願いしたい。また、本市の小学校・中学校では、特別支援教育が必要な児童・生徒の指導計画を作成するなど取り組みを行っているが、今後は外部(例えば民生委員、市教委など関係機関)の支援が必要である。それに対して議会としてどう取り組んでいるかについても、次回は報告してほしい。各委員会等で視察研修するだけでなく、市政に反映させてほしい。



## 8. 執行者へ対する質疑・意見・要望

<b>【 庄原地域 庄原地区 】</b>
庄原自治振興センターの調理室のガスレンジが老朽化によりガス漏れの危険があるため、早急に更新してほしい。(担当課に要望はしている。)
<b>【 庄原地域 本村地区 】</b>
本村自治振興センター近くの交通信号機に廃止の話が出ていると聞く。高齢者も多く事故の多発が懸念されるので残してほしい。
庄原市の避難所には、その施設の防災上の安全性に関係なく指定している施設もあるのではないかと。また、処分される旧学校施設もあるが、昨今、豪雨災害が多発していることを踏まえて、未利用施設を防災用物品の保管場所や、緊急的な避難場所にするなどで、より安心につながると思う。これを検討してほしい。
<b>【 庄原地域 峰田地区 】</b>
障害者のリハビリ用医療ロボットの導入を庄原市でもお願いしたい。
市の公共施設でシニアカーの充電が出来るようにしてほしい。有料でも充電できれば利用者は大変に助かる。
田園文化センターなど、市の公共施設の障害者用トイレを暖房便座にしてほしい。
クリーンキャンペーンなど市の事業で保険をかけていただいているが、保障金額が安すぎるように感じる。しっかりと補償がある保険にしていきたい。
<b>【 庄原地域 敷信地区 】</b>
板橋西原地区では人口が増えているが、子供たちの遊び場がない。高齢者の集いの場にもなる。地域のために広場を作っていただきたい。
板橋西原地区に西原八幡神社の参道がある。ここから高橋歯科までの道は、現在未舗装で、幅も約2.5メートルしかない。これを整備してほしい。
個人に入学祝い金を配るよりも、教室が足りないところに充てるなどの使い方があるのではないかと検討してほしい。
<b>【 庄原地域 東地区 】</b>
障害のある方が安心して通院できる児童精神科施設の誘致やA型支援の整備を検討してほしい。
<b>【 庄原地域 山内地区 】</b>
猪や鹿などの有害鳥獣の被害が深刻化してきている。防護柵に補助金を出すより、捕獲し頭数を減らすことが重要である。捕獲奨励金の額を増やしたらどうか。
放置家屋の草刈り等の環境保全を行政としてできないか検討してほしい。イタチなどの動物のすみかになっている。

<p>田園文化センター(図書室)の閲覧スペースを広くしてほしい。また、新しい図書館の建て替えを検討してほしい。</p>
<p><b>【 庄原地域 北地区 】</b></p>
<p>超高速情報通信網整備事業の住民告知端末の設置については、住民によく理解されていない部分がある。わかりやすく整理して周知すべきだ。</p>
<p><b>【 西城地域 西城地区 】</b></p>
<p>自主防災の取り組みでは、広島市のように防災士の研修などを行ってほしい。</p>
<p>西城の小中学校にはプールがない。水夢があるためだと思うが、特に夏季休業中に児童生徒が水泳をする機会をしっかりと確保してもらいたい。</p>
<p><b>【 東城地域 小奴可地区 】</b></p>
<p>行政文書について、隣家が遠く、かなり高齢化が進んでいるなどで、届けるのが困難になっているところがある。行政文書は月1回にしてほしい。</p>
<p>JR芸備線のダイヤでは便利が悪い。広島へもバスの方が便利である。また、駅まで行くのが困難な人が多い。10月から開始される芸備線対策会議では、そうした地域の状況・課題も含めて議論してほしい。</p>
<p>市民タクシー制度は、自治振興区(地元)に大変な事務がかかっている。タクシー券にしてはどうか検討してほしい。</p>
<p>小奴可と内堀の診療所が5月末で閉鎖となった。無医地区となるので、医療バスの運行を考えてほしい。</p>
<p><b>【 東城地域 八幡地区 】</b></p>
<p>地域包括ケアシステムの対策は、短期・中期・長期の取り組み見通しや、成果や課題を市民に周知してもらいたい。また個人の努力目標も示して成果をあげるべきだ。取り組みへの男性参加が少ないので工夫して参加を促すようにしてほしい。</p>
<p>農業振興策について、頑張る個人農家や65才以上の定年就農農家を支援する施策をすべきと思う。小農対策は、健康づくり・生きがいづくりに効果が大きいことに着目して推進してほしい。</p>
<p>売り場が手狭な産直市の、きんさい市と、別棟の道の駅、遊YOUさろん東城は売り場が離れている。お客さんの動線も途切れている。地域農産物の買い物をしやすくするような、利便性・魅力向上対策を検討して実施してほしい。</p>
<p>支所職員が減少する状況で、行政から各自治振興区への要請が強まり事務対応に苦慮している。これ以上の業務拡大には、人的・予算的措置がないと対応が難しいので改善してもらいたい。</p>
<p><b>【 東城地域 田森地区 】</b></p>
<p>ニュー東城の経営が、温泉施設のやりくりなどにより、5年前くらいからかなり厳しくなっている。人件費積算など、他の指定管理施設と比べて良くないと感じるので、是正をお願いしたい。</p>
<p>東城温泉の空地を利用して地域包括ケアや観光振興、定住振興などの拠点にもなるように整備してほしい。</p>

米の価格は下がり資材価格は高く、農業経営は大変厳しい状況にあるが、その中で、市のがんばる農業支援事業補助金や担い手育成の補助金など申請が難しく活用しにくい。またすぐに予算がなくなってしまう傾向にあると思う。少し遅くなれば予算がなくなってしまう現状を予算拡充で打破してほしい。

**【 東城地域 東城地区 】**

障害者や高齢者が利用できる市内のリハビリ施設の情報を提供してもらいたい。障害者の雇用については、雇用する側や同僚の理解をより深めるような取り組みをお願いしたい。また、割引制度が利用できる施設等の案内を積極的にしてほしい。

**【 東城地域 帝釈地区 】**

集団健診や人間ドックについて、75歳以上の市民にも助成していただきたい。

市では地域包括ケアシステムなど色々とやっていただいている。自治振興区も小地域サロンや見守りの声掛けなどできることは積極的に行っている。自治振興区への補助金の削減にならないようお願いしたい。

市が養成をされているシルバーリハビリ体操指導員が指導にあたる際の、特に遠隔地への交通費などを検討していただきたい。

**【 東城地域 新坂地区 】**

休暇村帝釈峡から三坂駐車場へ行く遊歩道が通行止めになっている。地元へは何の説明もないが、なぜ通行止めになっているのか教えてほしい。できれば、通れるようにしてほしい。

帝釈峡の観光に力を入れてほしい。もう手遅れかもしれないが、帝釈峡を観光地として復活してほしい。特に樹木が老木化してきており、帝釈峡の環境を保全するには若返りを図る必要がある。国定公園なので難しいかもしれないが、若木を植えるような取り組みができないか。また、神龍湖の水質が悪くなっている。対策を早急に考えてほしい。

**【 東城地域 久代地区 】**

きんさい市(農産物の産直市)と遊YOUさろん東城(道の駅)は別々の建物になっていて非常に効率が悪い。来訪者が立ち寄りやすいように一つにまとめるとか、トイレをはじめ施設全体の大規模改修を望む。このことで庄原市の周辺部を含めた全体的な活性化や生産者の意欲向上につながることを願う。

**【 高野地域 高野地区 】**

アクセスなども考えると中門田地区は住宅地となる可能性も秘めている重要な地域だが、水がないため定住を推進できない。新市から道の駅たかのに給水管が伸びている。すぐ近くだが給水地域外だ。接続して中門田地区の飲料水の確保により定住促進をお願いしたい。

高野ICで降りる価値がなければ、その先は何も続かないと思う。道の駅たかの(株式会社緑の村)には、市長と副市長で3人の役員が入っておられる。道の駅を大切にして、いざなみ街道の高野から東城まで観光面など、どうすればよいか考えてほしい。

外国から遺伝子組みかえ食品等が入ってくるが、市は地産地消の取り組みを強力に進めてほしい。

**【 比和地域 比和地区 】**

田の平トンネルでは冬に点検や工事をしている。近くの路面の凍結もあり、通行に危険があると思う。市とは関係ないかもしれないが、国や県に他の時期にできないか要望してほしい。

農業の担い手が不足するなか、国は農業を守るために認定農業者主体の施策に取り組んでいる。認定農業者には5年の計画と、5年後には450万円の農業所得があることが条件にある。これは米だけでは大変であり認定基準の緩和をお願いしたい。

**【 総領地域 総領地区 】**

総領町で天然遡上あゆの中間育成施設を整備し基幹産業としたいので検討いただきたい。

総領地域から長年の要望である一般県道中領家庄原線の早期完成を目指してほしい。

農業振興施策の庄原市ががんばる農業支援事業について、この事務手続きを簡素化できないか。具体的には、例えば100万円を超えるような経費の額が大きいものについては、領収書を提出し補助金を受け取るのではなく、見積書の提出とし、支払いより先に補助金を受け取るような手続きにすることはできないか。

## 9. 議会報告会の検証結果

### (1) 開催時期等について

#### 【実施状況】

##### (1) 一般会場

- ①7月3日～7月18日（6月定例会終了後）
- ②年1回
- ③原則平日の19:00～21:00

#### 検証結果

- ①現行どおりとする。
- ②選挙後や委員会構成変更後の実施は確実に対処して進める。

### (2) 開催会場の設定数について

#### 【実施状況】

21会場（庄原8・西城2・東城7・口和1・高野1・比和1・総領1）

#### 検証結果

- ①現行どおりとする。

### (3) 報告内容等について

#### 【実施状況】

##### (1) 常任委員会の報告

- ①公契約条例について
- ②地域包括ケアシステムについて
- ③学校教育（特別支援教育）について
- ④林業振興施策について
- ⑤農業振興施策について
- ⑥観光振興施策について

##### (2) 意見交換

- ①未利用財産の活用について
- ②入学祝い金、敬老祝い金について
- ③JR芸備線について
- ④自治振興区制度について
- ⑤その他

#### 検証結果

##### (1) 常任委員会の報告

- ①常任委員会の目的を明確にした報告をする。
- ②大きな問題や課題が生じれば取り上げるなど臨機応変に対応する。
- ③次期開催時に検討する。

##### (2) 意見交換のテーマ

- ①次回もテーマを抽出する。

- ②先にテーマを全部挙げると説明にも時間を要する。一方でテーマから各方面に意見が発展することもあり提起の仕方を工夫する。

(4) 班編成について

【実施状況】

3名又は4名で構成し、5班編成（常任委員会単位）

検証結果

- ①現行どおりとする。

(5) 記録について

【実施状況】

班員（記録者）による要点記録

検証結果

- ①現行どおりとする。

(6) 時間割について

【実施状況】

時間配分は、報告、質疑で1時間、意見交換で1時間を目途とする。

- ・開会あいさつ
- ・議会報告・質疑・意見交換
  - (1) 議会活動報告
  - (2) 質疑応答
  - (3) 意見交換（意見を求めるテーマを設定）
- ・閉会あいさつ

検証結果

- ①現行どおりとする。

(7) 配布資料・パワーポイントについて

【実施状況】

(1) 一般会場

- ①資料を配付

- ②資料を投影

検証結果

- ①パワーポイント資料は共通様式で作成する。

(8) 周知方法について

【実施状況】

- (1) 行政文書（全世帯へ配布）
- (2) 広報車（庄原地域）
- (3) 新しい住民告知放送・オフトーク放送・防災行政無線放送

検証結果

- ①議員が積極的に参加を働きかける。
- ②新しい住民告知端末の普及やアンケート結果を考慮して広報車は運用しない。

(9) 報告会全体の運営について

検証結果

（気象警報発令時の対応）

日程調整の際に、あらかじめ警報発令時の対応を自治振興区、会場施設と確認しておく。

- ①代替日程
- ②延期告知の方法
- ③自治振興区や会場施設への周知及び張り紙などの準備物と担当者等
- ④開催可否判断の時刻は開催当日の午後5時

（運営）

- ①次回開催時の実施計画に向けて報告会の運営を検討する。